

クローバー

2019. 7

第47号

～ 地域を支える、生命を守る、未来を育む医療を目指して ～

MRI検査室・装置供に リニューアルしました



今年の4月から、Philips社製AchievaDual1.5Tに換わり、同社製のIngenia1.5Tが稼動しました。装置の更新期間中もMRI検査を可能とするため、検査室も新しくすることにしましたが、院内に新たに検査スペースを見つけるのは大変でした。ご協力頂いた関係者各位に心より感謝申し上げます。

導入したIngenia1.5Tは、既に県立病院で数機稼働中であり珍しいわけではありませんが、旧装置に比べるといくつか優れた点がありますので紹介させていただきます。

一つ目は、装置の開口径が70cmと広くなり検査時の圧迫感がいくらか解消されました。また、撮影範囲も55cmと少し広範囲に撮影できます。騒音に関しては、いくらか低減されています。以前より快適な環境で検査を受けて頂けるようになりました。

二つ目は、磁場の均一性が増しSNRが向上したことで安定した脂肪抑制画像を得ることが出来ます。これによりオンコロジーイメージングの一つであるBody DWIが以前よりも良い画質で提供できます。またカーディアックイメージングについても、同様に検査できます。

最後に、新機能としてMRS（MRスペクトロスコピー）が追加されました。オンコロジーイメージングとして活用して下さることを期待します。

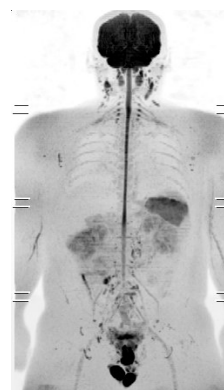
稼働して約二ヶ月経ちますが装置の能力が100%引き出されているとは言い難く、今後もスタッフ一同で研鑽していきます。

この度は、装置紹介の機会を頂き有り難うございました。併せて放射線技術科も宜しく申し上げます。

副診療放射線技師長 大崎 誠



Ingenia1.5T MRI装置



Body DWIの画像

岩手県立胆沢病院の基本理念

<基本理念>

私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。

<行動指針>

- 1) 患者さんと家族、私たちとの協働医療（専門性を結集した多職種による、患者参加型のチーム医療）
- 2) 患者さんの背景・価値観に配慮した医療
- 3) 患者さんが安心できる、良質で安全な医療
- 4) 地域の医療・福祉・行政との連携と機能分担
- 5) 次の世代を担う優れた医療人の育成

<病院運営方針>

- 1) 救急医療を含む急性期医療
胆江保健医療圏の基幹病院として、24時間対応の救急医療など、圏域の急性期医療、高度・専門医療を担います。
 - 2) がん医療
地域がん診療連携拠点病院として、手術・化学療法・放射線治療・緩和ケアなど専門的ながん医療の提供や、がん患者に対する相談支援・情報提供を行います。
 - 3) 地域医療支援
地域医療支援病院として、紹介・逆紹介の推進、地域医療機関との共同診療、地域の医療従事者・地域住民に対する研修・教育を行います。
 - 4) 災害医療
地域災害拠点病院として、災害時の傷病者の受入れや地域医療機関への支援、DMATチームの派遣を行います。
 - 5) 臨床研修、スタッフ教育
臨床研修指定病院・各種学会認定研修施設として、次の世代を担う医療従事者を育成するとともに、病院スタッフの研鑽に努めます。
- 上記5項目の実践・充実のため、誇りを持てる職場づくりと健全な病院運営に努めます。

はじまる！治療と仕事の両立支援相談会

胆沢病院では、今年6月より岩手産業保健総合支援センター協力のもと「治療と仕事の両立支援相談窓口」を設置し月1回の相談会を開始致しました。

今回は、相談対応者である岩手産業保健総合支援センターの阿部両立支援促進員さんより治療と仕事の両立支援制度やその支援における医療との連携についてお話を伺いました。



両立支援促進員 インタビュアー 阿部さん（左） MSW北谷（右）

—病気になると、元気だった時には気にならなかった日常生活の様々な事に不安を抱えますが『治療と仕事の両立支援』とは具体的にどのような支援をいただけるのでしょうか？



治療の必要性を理由に職業生活の継続を妨げることなく、適切な治療を受けながら生き生きと働き続けられる社会を目指す取り組みです。そのため、窓口での相談対応や個別の就業環境調整支援、会社訪問による研修・セミナー開催などを行っています。

—相談対象者について制限などありますか？



相談には制限はありませんが、治療と仕事の両立支援の対象者は、治療中で離職（退職）していない方、会社やその担当者となっています。なお、利用は全て無料です。

【具体的支援内容】

- ①会社の休暇制度や勤務制度等の環境整備
- ②健康保持のための就業措置、治療に対する配慮の支援
- ③両立のための教育や研修の実施



阿部 恵美子氏

2年前から両立支援促進員として活躍。元保健師。

—仕事を続けたいけど、職場に迷惑をかけてしまうのではないかと気にされ辞めざるを得ないと悩まれている方も多いと感じ受けますが、気持ちや考えを整理する際の助言などありましたらお聞かせください。



療養生活を前向きに捉えて頂くために次の点を大切に支援対応しています。

- ①治療技術等の進歩により「不治の病」は「長く付き合う病気」。
- ②今は仕事をしながら治療を続けることが可能な時代。
- ③本人にとって仕事は生きがいである。

また、事業者・患者（労働者）双方にとって離職しないことのメリットについて話題提供もしております。

—利用者の職業生活支援において職場と医療機関との連携が今後ますます重要になってくると思いますが、特に医療機関との連携においてお互いに心掛けたいと感じられていることがありますか？



本人了解のもとでの情報共有と保護です。そして信頼「ハウレンソウ」の実践を心掛けたいと思っています。

治療と仕事の両立

のための

両立支援相談会

- ・ 場所：県立胆沢病院 医療情報コーナー
- ・ 日時：毎月第4火曜日 11：30～14：00
- ・ 問い合わせ先：県立胆沢病院 地域医療福祉連携室
- * 対象者について、当院かかりつけかは問いません



新任医師の紹介

よろしくお願いします！

- ① 職名
- ② 専門分野
- ③ 趣味
- ④ ひとこと



ながさか ひろのり
長坂 博範

- ① 小児科長
- ② 小児先天代謝異常症
小児消化器病
小児内分泌
- ③ 河川に生息する魚
野球の研究等
- ④ 作物を育ててみたい



やまだ まさと
山田 誠人

- ① 第3外科長
- ② 消化器外科
- ③ ゴルフ・食べ歩き
- ④ 大船渡病院から転勤してまいりました。どうぞよろしくお願い致します。

平成30年度 紹介率・逆紹介率の状況

当院は、平成26年12月1日付けで「地域医療支援病院」の承認を受けております。患者に身近な地域で医療を提供されることが望ましいという観点の元、地域の中核病院として各医療機関と適切な連携を図っていくよう努めております。そうした中で、紹介率、逆紹介率は、第一線の地域医療を担う、かかりつけ医を支援する一指標として用いられており、地域医療支援病院の承認要件ともなっています。

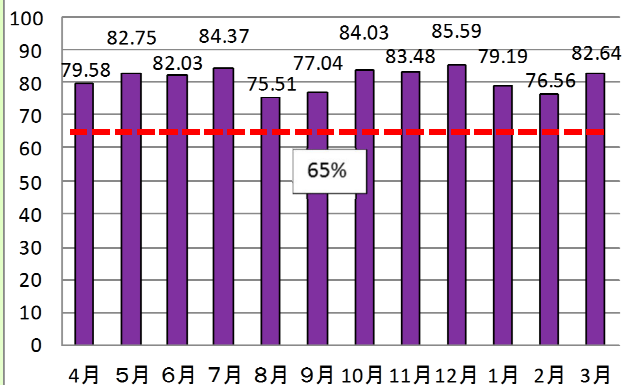
○地域医療支援病院承認要件

地域医療支援病院紹介率、逆紹介率がア～ウのいずれかを上回っていること。

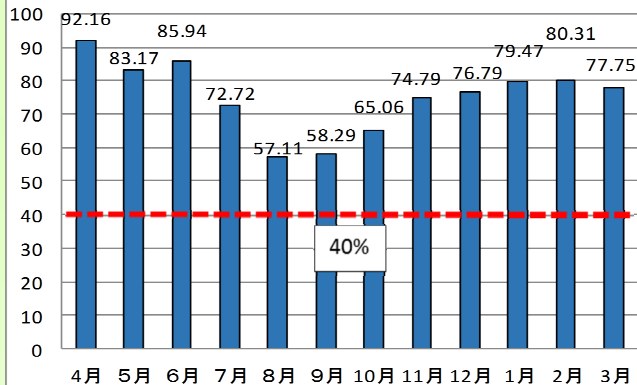
	地域医療支援病院紹介率	地域医療支援病院逆紹介率
ア	80%	---
イ	65%	40%
ウ	50%	70%



紹介率



逆紹介率



皆様のご協力のおかげで、昨年度の紹介率・逆紹介率が承認要件を満たすことができました。今年度も患者様の紹介・逆紹介についてよろしくお願いいたします。

岩手県立胆沢病院 救急患者の受入れ状況

平成30年度 1日平均34.9人、GWは 1日平均65.1人を受入れ



当院は、胆江圏域二次救急指定医療機関の基幹病院として、その中心を担うべく365日昼夜問わず救急患者の受入れを行っています。右記表は、昨年度からの救急患者の受入状況ですが、平成30年度は、1日平均34.9人の救急患者を受入れています。救急車搬入件数は年間3,368件で、1日平均にすると9.2件の救急車を受入れております。救急患者の内、22.9%の方が入院されており、救急患者の5人に1人は入院されている状況となっております。

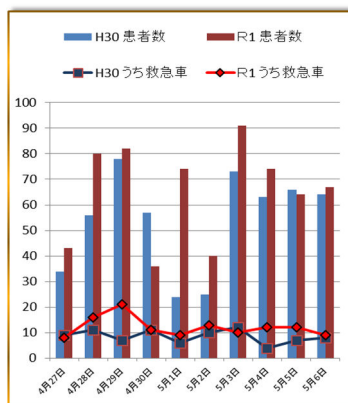
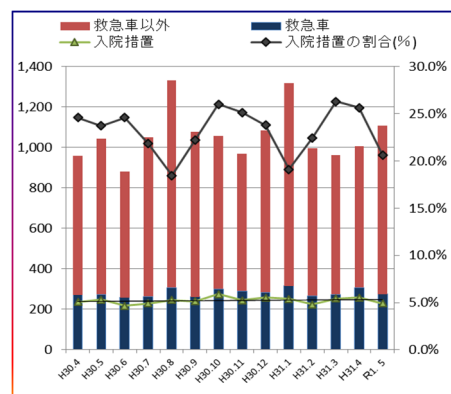
また、当院は平成26年12月に地域医療支援病院の認定を受け、平日時間内の診療については、一部診療科を除いて他の医療機関からの紹介を原則としておりますが、救急患者さんについては、断ることなく受入れております。当院基本理念の「私たちは、地域の人々の健康と命を守るため、愛を持って地域医療に貢献します。」の下、胆江圏域の急性期医療と救急医療を担ってまいりますので、今後とも地域の皆様のご協力をお願いいたします。

GW10連休中の救急患者受入れ状況

GW10連休中、当院では胆江圏域の医療体制の確保と連休中に治療が必要な患者さん方への対応を目的として、4月30日と5月2日の2日間の通常診療を行いました。この2日間も含めた連休期間中には、1日平均65.1人の救急患者さんが受診されました。また、救急車については合計で121件、1日平均12.1件の搬送受入れとなっています。

医事経営課長 及川 光二

年月	救急車	救急車以外	計	入院措置	入院措置の割合(%)
H30.4	272	688	960	236	24.6%
H30.5	274	771	1,045	248	23.7%
H30.6	259	623	882	217	24.6%
H30.7	263	786	1,049	229	21.8%
H30.8	308	1,024	1,332	246	18.5%
H30.9	261	816	1,077	239	22.2%
H30.10	301	756	1,057	275	26.0%
H30.11	290	680	970	244	25.2%
H30.12	284	800	1,084	258	23.8%
H31.1	316	1,001	1,317	252	19.1%
H31.2	266	732	998	224	22.4%
H31.3	274	688	962	253	26.3%
H30計	3,368	9,365	12,733	2,921	22.9%
H31.4	307	699	1,006	258	25.6%
R1.5	275	834	1,109	229	20.6%
H31.4~R1.5計	582	1,533	2,115	487	23.0%



月日	R1 救急車	救急車以外	計	H30 救急車	救急車以外	計
4月27日	8	35	43	9	25	34
4月28日	16	64	80	11	45	56
4月29日	21	61	82	7	71	78
4月30日	11	25	36	11	46	57
5月1日	9	65	74	6	18	24
5月2日	13	27	40	10	15	25
5月3日	10	81	91	12	61	73
5月4日	12	62	74	4	59	63
5月5日	12	52	64	7	59	66
5月6日	9	58	67	8	56	64
計	121	530	651	85	455	540

※マーカー部分は通常診療日

お盆期間中の診療体制について

下記の期間、外来診療（全科）を休診し、当直医師による救急診療体制となります。

8月13日（火）、8月14日（水）

※救急のご紹介の際は、中央処置室にご連絡をお願いします。



岩手県立胆沢病院 地域医療福祉連携室

〒023-0864

岩手県奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地

TEL 0197-24-4121

FAX 0197-24-4180（紹介センター専用）